

# 週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 4 年 1 月 25 日



SERVE TO CHANGE LIVES

2021~22 年度  
国際ロータリー会長  
Shekhar Mehta

(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

## 豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日



第 2523 号

2021.7~2022.6

会 長 森本博明  
副 会 長 北村公一  
幹 事 小川佳伸  
雑誌・広報・会報委員長  
澤木政光

本日 ( 1 月 25 日 ) のプログラム

次回 ( 2 月 1 日 ) のプログラム

「私を感じた日本」

「平和フェロシップについて」

豊中 RC 奨学生 : Li Jiayao

卓話担当 : 矢野 昭

卓話担当 : 矢口正登

### ★会長の時間★

「阪神・淡路大震災から 27 年」

2021-22 年度 会長 森本博明

昨日、1月17日で阪神・淡路大震災から27年です。6434人もの尊い命が奪われました。27年前の出来事です、今もその時の事を鮮明に記憶しております。また3日前の15日午後1時ごろにトンガ諸島の海底火山が噴火しました。午後7時ごろ気象庁が「被害の心配なし」と発表。午後8時ごろ太平洋各地で潮位変動を観測、国内各地で気圧が約2ヘクトパスカル上昇。午後11時55分 鹿児島県奄美市で1.2メートルの最大波を観測され日付が変わった16日午前0時15分に奄美群島・トカラ列島に津波警報が出されました。午前2時54分岩手県の津波注意報を警報に切り替え 午前7時半 奄美群島・トカラ列島の津波警報を注意報に切り替えられました。私も16日の午前0時過ぎのテレビでの津波警報の緊急速報を見ましたが、その時は事情がよくわからず、大変な事が起こっているとしか認識できませんでした。気象庁は16日未明に開いた緊急の記者会見で、これらの判断の経緯を説明した。そこで語られたのは、未知の現象への戸惑いだったということです。

地球が誕生して以来、気が遠くなるほどの年月をかけて地球の大陸は色々と変化を遂げて来ました。地殻変動による大陸の分断または統合など。。それらの事は普通に地球の営みとして捉えられています。長いスパンで考えた場合これからも普通に地球が変化を遂げて行くことかと思えます。自然のチカラによって様々な事象が起こり続けて行くのだと思えます。明日何が起きても何も不思議では無い現状、生きる為には十分な備えが必要だという事です。考えて見れば、大きな火山の山頂部分が海面より上に出ているのがトンガの島です。火山の島は日本も含めて同じ。活火山が近くにある日本では少し感覚が麻痺しているのかもしれない。

最後になりましたが今週の週報にも1月9日の豊中市消防局の出初式の写真を掲載させて頂いておりますが、高所作業車上で作業中の作業員が脳卒中で意識不明になったという想定での訓練でした。実際に目の当たりにしたその迫力と消防局員の的確な連携作業、そしてドクターヘリへの連携は感動的でした。また観客席からではありませんでしたが亡くなられた福盛会員の強い勧めが消防団に入ったきっかけだ何人かの方お話されているのを耳にしました。ここでも(故)福盛会員の強いリーダーシップを感じました。今、我々が出来る事はいざという時の為に改めて準備をすることが大事だと思えました。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内

TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時~16 時(土日祝を除く)

H P ア ド レ ス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メー ル ア ド レ ス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

## 例会出席報告☆

	第2933回	第2930回
例会日	1月18日	12月14日
① 会員数 A	37	37
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	29	29
③ 出席義務者出席数	19	19
④ 出席免除者出席数	6	6
⑤ メイクアップ数		2
⑥ 出席義務者欠席数	10	10
出席率 %	71.43%	77.14%

出席率 (2933回) ③+④/②+④ 出席率 (2930回) ③+④+⑤/②+④

## 幹事報告

### ・国際ロータリー第2660地区

「【重要】地区ロータリー財団 補助金管理セミナー 開催形態の変更について」が届きました。  
「クラブの参加資格認定：覚書【MOU】提出のお願い」が届きました。

## 掲示板

### ・第8回定例理事会

日時：2022年2月1日（火） 例会終了後  
場所：ホテルアイボリー 例会場

### ・国際奉仕フォーラム

日時：2022年2月8日（火） 例会終了後  
場所：ホテルアイボリー 例会場

### ・R財団創立記念日

1905年2月23日です。

### ◎副幹事・副SAA当番◎

1月副幹事 谷野桂子会員  
1月副SAA 村司辰朗会員

2月副幹事 松本拓朗会員  
2月副SAA 小牧義昭会員

### ☆1月受付当番☆

チーフ：松本 悟会員  
1月25日 横田広司会員、深瀬浩一会員

### ☆2月受付当番☆

チーフ：宮田幹二会員  
2月1日 眞下 節会員、南原 淳会員  
2月8日 吉川秀樹会員、原 和永会員

## ☺1月8日と1月18日のニコニコ箱報告☺

### 1月8日

- ・明けておめでとうございます。  
田中、木村、村司、米田、畑田、矢野  
森本、横田、松山、北村、武枝、眞下  
宮田、岩本、原、田畑、深瀬各会員

### 1月18日

- ・結婚記念日祝いを頂いて 佐川、武枝各会員
- ・家内の誕生日祝いを頂いて  
澤木、小牧、眞下各会員
- ・入会記念日祝いを頂いて 米田会員
- ・年末家族会にご協力いただきありがとうございました。 田畑会員
- ・年末家族会で景品を頂きました。 松山会員
- ・吉川会員にお世話になりました。 横田会員
- ・新年に向けて 都井会員
- ・明けておめでとうございます。  
矢口、佐川、小寺、松山、松尾、谷野  
小牧、小川、吉川各会員
- ・写真を頂いて  
木村、村司、矢野、森本、松山、北村  
谷野、都井、眞下、宮田、小川、原各会員

もうすぐ



日本では、旧暦の2月を「如月（きさらぎ）」と呼びます。

旧暦の2月は、今の新暦でいうと、2月下旬から4月上旬にあたります。

この時期は、まだ寒さも残っていて、衣（きぬ）を更に着る（重ね着をする）季節ということで、「衣更着」と書き、「きさらぎ」と言われるようになったという説が有力です。

他にも、草木が芽を出す季節で「草木張月（くさきはりづき）」、陽気が更に来る月で「気更来（きさらぎ）」などの説もあります。「如月」と書くようになった由来は、中国の2月が「如月（にょげつ）」だったことからきているそうです。

「職業奉仕月間に因んで」

地区職業奉仕委員会 武枝 敏之 (豊中ロータリークラブ)  
卓話担当：眞下 節



国際ロータリー2660 地区 2021-2022 年度地区職業奉仕委員会は、上甲梯二委員長以下 15 名で構成されております。

#### 本年度の活動方針

1. クラブ職業奉仕委員長に「職業奉仕」に関する理解を深めて頂くための支援を行う。
2. クラブ職業奉仕委員長が実践すべき卓話、フォーラムその他の活動支援

この方針のもとで活動を行いました。

地区におきましては、HPにて・実践の手引き・卓話モデル（四大用語・歴史と変遷）のパワーポイントを用意しております。

今月は、職業奉仕月間でもあります。「職業奉仕」とは。の答えなどありませんが、夫々会員各位が答えを導かれることが正解だとは思いますが、職業奉仕を理解するために地区の卓話モデルを利用してお話を進めます。

「もっともよく奉仕する者、最も多く報われる」「超我の奉仕」をモットーとし、常に「四つのテスト」を理解し、念頭に置く。「ロータリーの樹」の説明で少しのご理解が得られたら幸いです。ロータリーの樹とは、基本理念である THE IDEAL OF SERVICE (奉仕の理念) を実践する手段が職業奉仕であることをわかりやすくした図であります。そして、クラブ奉仕とは例会出席のことであり、ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」であり、職業奉仕とはその上に成長する「幹」であり「奉仕の理想」と並ぶものと位置づけられています。ロータリーの目的、職業宣言、五大奉仕の定義がロータリーの奉仕の理念とその実践を示すものであるのに対して、四つのテストは 日常の商取引・産業活動におけるロータリアンの言行の自己評価の為のテスト形式の基準として、導入されました。

四つのテストとは

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

新入会員にロータリーを最初に説明するときに、四つのテストがよく使われるように、このテストの邦訳には、ロータリーの精神が、ロータリアンのみならず一般の職業人にも理解できるような形で、簡潔かつ的確にまとめられています。ロータリークラブあるいはロータリアンが 理念の実践を通して 社会に対する真実の灯となり、重要な規準となると いても過言ではありません。

ロータリーは人づくりといわれます。それには、内と外があります。

人づくりは、その対象がロータリアンであるか否かによって、「内なる人づくり」と「外なる人づくり」に分類することができます。内なる人づくり、すなわち ロータリアンの 人づくりとしては、新人研修に始まり、各種フォーラム、炉辺会議や、戦略委員会、各種の奉仕事業やロータリアンの研修会などをあげることができます。また、外なる人づくりは、ロータリアン以外に対する人づくりですが、米山留学生や青少年交換学生などもこれに含めて考えることができそうです。

さまざまな職業奉仕活動を 実践する際には、「ロータリーの職業奉仕と言えるためには」という 視点が欠かせないでしょう。

最後に・・・「人づくりは自分づくり、ロータリーは人づくり」と考えていますが、人が人をつくることはできません。すべて各人が、自ら成長をしていく「自分づくり」が基本であり、ロータリーはその成長の後押しをする役目であります。

「人づくりは自分づくりの 支援の場」と、とらえ、ロータリーの発展に 寄与することが必要です。